

日常保育の中で英語に親しむ

～グローバルウイング事業～

☆ (外国人指導員による英語教育)

★外国人指導員、都留市教育委員会、小学校との連携事業

1. 目的と経緯

- ・幼児期から遊びや生活の中で自然に英語に触れ、英語に慣れ親しむことで小学校から始まる英語教育へのスムーズな接続と英語力（話せる・使える）の向上を図ることを目的とする。
- ・令和6年9月から市教育委員会と連携し試験的に当保育所において実施。令和7年10月からはグローバルウイング事業として市内の保育所・認定こども園等においても実施している。



2. 内容

- ・教育委員会より外国人指導員が保育所へ派遣され、子どもたちと一緒に日常生活を過ごす中で、自然に英語に触れることができる環境を創設している。
- ・歌や絵本、リトミックなどを通じて英語に楽しく親しむことができる活動を取り入れている。
- ・保育所へ派遣されている外国人指導員が週に1回、地域の小学校へ出向き、3年生から始まる「外国語活動」に準じた活動を1・2年生で行っている。

3. 成果と課題

- ・外国人指導員が保育所に常駐したことによって、子どもたちにとって英語が身近なものとなっている。
- ・あいさつや曜日、天気などの言葉を英語で聞いて発音することが日常的になった。
- ・子どもたちは英語に興味を持ち、積極的に外国人指導員に質問するなど、楽しんで学ぼうとする姿が見られている。
- ・子どもたちの英語力の向上やグローバルな視点からの活動の成果を実感できるよう今後は様々なアイデアを取り入れた活動を展開し、長期的にこのプログラムに取り組んでいくことが必要である。地域や家庭とも連携しながら子どもたちの成長や英語力における向上を支援していきたい。

